



ルールブック

対象年齢：6歳以上 / プレイ時間：20分 / プレイ人数：2～4人

あなたは神社の神主となって、収穫した供物を捧げて、たくさんの神々のご加護を得ることを目指します！

神様に対して最高の供物を捧げた者だけが、ご加護を得ることができます。また、神々の組み合わせによって、更なるご加護を得ることができます。

もしあなたが神々の関係を完全に覚えているなら、さらに大きなご加護を得ることが出来るでしょう！

誰よりも大きなご加護をえて、最高の神主の名誉を手にしてください！



カード



神力カード : 18 枚



供物カード:30枚
(米5枚、酒10枚、塩15枚)



役カード：4枚
(1種)

神カード、供物カード

勝利点



名称

影響力

供物カード



- ・神カードの左上には**勝利点**が記載されています。この勝利点を誰よりも多く集めることができますのがゲームの目的です！（三種の神器は特別です。後で説明します）
- ・供物カードの左上には、**影響力**がアイコンの数で示されています。神カードの獲得をめぐって競り合うときに、影響力が必要になります。

ゲームの準備

- ・じゃんけんで最初の親を決めます。
- ・親は供物カードを手に取り、全員に米1枚、酒1枚、塩2枚、の計4枚を配ります。プレイヤーはこのカードを手札として持ちます。残りの供物カードはシャッフルし、テーブルの中央に裏向きの山にして置きます。これを供物の山札と呼びます。
- ・親は供物の山札の一番上のカードをめくり、供物の山札の右隣に表向きにしておきます。これを収穫カードと呼びます。
- ・供物の山札の左隣にカードを置くスペースを確保します。この場所を捨て札と呼びます。

全員に配られるカード



供物カード（米、酒、塩、塩）

神カード（裏）

役カード（裏）

(例)



- ・親は神カードをシャッフルして、全員に裏向きに1枚ずつ配ります。プレイヤーは自分のこのカードをいつでも確認することができます。残りの神カードは裏向きの山札にしてテーブルの中央に置きます。これを神の山札と呼びます。
- ・親は神の山札の一番上のカードをめくり、神の山札の右隣に表向きにしておきます。これを祭壇カードと呼びます。
- ・親は役カードを裏向きにして各プレイヤーの前に置きます。

役カード

- ・獲得した神カードの組み合わせ（役）によって、**追加の勝利点**を獲得できます。その内容は役カードに書かれています。
- ・裏面の状態では神様の名前は隠されており、裏面の方が大きな勝利点を獲得できます！
- ・役カードはゲームの開始時に**裏向き**にして配られます。
- ・ゲームが終了するまで、プレイヤーはいつでも**表面が見えるように手札に加える**ことができます。その場合、そのプレイヤーが獲得できる**勝利点**は表面の点数に下がります。

裏面



表面

ゲームの流れ

- ・プレイヤーは祭壇カードの獲得を巡って、供物を捧げて競りを行います。
- ・親から時計回りの順に手番が周り、手番では①供物を捧げるか②パスを行います。
- ・競りの勝者が決まるまで手番は周り続けます。

①供物を捧げる

- ・手札から好きな枚数の供物カードを自分の前に出します。
- ・このとき、いま出した供物カードと、すでに自分の前に出している供物カードの影響力の合計が、他のプレイヤーが出している影響力を上回らなければいけません。

(例)

あなたは
供物カード（塩）
が出ている状態で、
”①供物を捧げる”
を行い、

供物カード（米）
を出して、影響力
を4にしました。



あなた
影響力：1 → 4



プレイヤーA
影響力：3



プレイヤーB
影響力：2

② パス

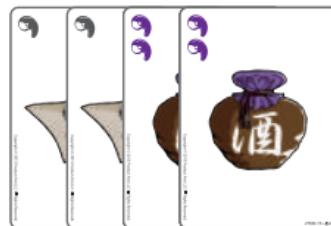
- ・いま自分が出している供物カードを全て手札に戻します。
 - ・さらに、収穫カードを獲得し、手札に加えます。
 - ・供物の山札の上のカードをめくり、新しい収穫カードとします。供物の山札が無くなった場合、すぐに捨て札のカードをシャッフルして、新しい供物の山札とします。
 - ・いまの祭壇カードの競りから抜けて、次の競りを待ちます。

(例) あなたは”パス”をして、
出していた供物カード
を手札に戻しました。

さらに、収穫カードを手札に加えました。



あなた
パス



プレイヤーA
影響力: 6



プレイヤーB
影響力：5



供物の山札



収穫カード



あなたの手札

- ・1人のプレイヤーを残して、他の全員がパスをして競りから抜けたとき、残されたプレイヤーは競りの勝者となり、自分の前に出している供物カードを捨て札にして、祭壇カードを獲得します。獲得した祭壇カードは表向きのまま自分の前に置きます。その後、神の山札の一番上のカードをめくり、新しい祭壇カードとします。
- ・このプレイヤーは次の競りの親になります。
- ・これを繰り返していく、神の山札にカードが無く、祭壇にカードを置けなくなったとき、ゲームは終了します。

(例) プレイヤーAは
競りに勝ちました！



プレイヤーA

プレイヤーAは
次の競りの親になります。

プレイヤーAは
出していた
供物カードを
捨て札にします。



プレイヤーAは
祭壇カードを
獲得します。



三種の神器

- ・ヤサカニノマガダマ、ヤタノカガミ、クサンギノツルギ、の3枚の神力カードは特別なカードです。プレイヤーは自分の手番のはじめに、その効果を使うことができます。
- ・カードの左上には勝利点の代わりに効果のアイコンが表示されています。
- ・効果はゲームを通じて1度しか使うことが出来ません。効果を使うときはカードを90度横向きにします。裏向きの場合は、それを表にしてから横向きにします。



ヤサカニノマガダマ

供物の山札の上からカードを2枚引き、自分の手札に加えます。



ヤタノカガミ

供物の山札の中から好きなカード1枚選び、収穫カードと交換します。
その後、供物の山札をシャッフルして戻します。



クサンギノツルギ

他のプレイヤー1人を指名します。
そのプレイヤーの手札からランダムに1枚を取って、自分の手札に加えます。

ゲームの勝者

- ・ゲームが終了したら、勝利点を計算します。
- ・自分が獲得した神力カードの勝利点と、役の勝利点を合計して、最も大きな勝利点を手に入れたプレイヤーの勝利です！
- ・もし最も大きな勝利点を獲得したプレイヤーが複数人いる場合、より多くの神力カードを持っているプレイヤーが勝者になります！
- ・それも等しいときは、勝利を分かち合ってください！

(例)

ゲーム終了時の獲得カード



役：12 退治

役：12 国譲り

合計：**47**

※ゲーム終了時まで役カードを手札に加えずにプレイ



勝利のためのヒント

1. 供物を捧げていても、捧げていなくても、パスをすれば収穫カードが貰えます！相手に少しでも多くの供物カードを捧げさせてからパスをすると良いでしょう。
2. 競りに勝ちたいからといって、供物カードを捧げ過ぎないように注意しましょう！冷静になって、他のプレイヤーがパスをするギリギリの影響力を見極めましょう。
3. 供物カードを1枚も捧げずにパスをするときは、もう一度よく考えましょう！へたをすると、対戦相手がただで祭壇カードを獲得してしまうかもしれません。
4. なかなか神力カードが獲得できないときは、焦る必要はありません！ここぞというときを狙って、手札を溜めておくことも大切です。
5. 神器カード「ヤタノカガミ」はトリッキーなカードです！自分が手に入れる収穫カードを米にしたり、相手が手に入れる収穫カードを塩にしたり、競りに勝ちたいときに収穫カードを米にして相手のパスを誘ったりするとよいでしょう。